

かわまた隆の活動報告

もっと咲け桜川市と市民自治

2025年3月 第17号



今号は、3月4日から17日までの第1回定例会での議論を紹介いたします。最終日に、「議会改革特別委員会」の設置が決まりました。議会運営の制度・慣行は、合併時の20年前のものだそうです。市民に開かれた議会、市民に役に立つ議会にしたいと考えます。

予算案の修正動議を提案しました

市議会での議論を活発にしたいと考え、榎戸議員と一緒に一般会計の予算案についての修正動議を出しました。大和駅北側開発の公園整備費など約44百万円、クラセル桜川（加波山市場）への支援費約21百万円の削除を求めました。結果は否決ですが。

<提案の理由は>

いずれも、大塚市政の目玉事業であり、思い付きでの無計画、先の見通しのない無展望、そして、無駄遣いのはなはだしい事業です。5点ほど指摘しました。

- ①大和駅北側開発のような地域開発事業や、加波山市場のような産業支援事業は、需要側（買い手側）の調査が大切です。どんな業種が進出に関心があるのか、どんな商品ならば、消費者は買ってくれるのかです。ところがこのような調査はありません。その結果は、時代の流れに逆行し40億円以上のお金をつぎ込んでも成果はあがりません。
- ②住宅地の開発も、27区画のうち、売却済みは16区画です。加波山市場は派遣している職員経費を含めると年5千万円近い支援をしています。当初目標の3億円にはほど遠い、1億円程度の売り上げです。
- ③実証実験事業であったはずの加波山市場は、4年間の実証期間が終了し、成果が出ないことが証明されたにもかかわらず継続です。撤退する勇気がないのです。
- ④達成できる目標もなく、その場しのぎの事業となり、職員の士気低下をきたしています。達成可能な具体的な目標があつてこそ、面白く働きがいのある仕事になるのです。
- ⑤その上、川股、榎戸議員がいるから、職員がやめる、増員が必要になるという、暴言を吐き、真剣な議論を妨害しています。

<コスパが大切です>

地域開発事業や産業支援事業は、コスパ（コストパフォーマンス）が大切です。つまり、**税金や雇用の増／市費の投入額**がプラスになるか否かです。このままでは、税収入は増えず、合併特例債という借金だけが市民に残されることになります。

新庁舎建設の犠牲になる大和公民館

新庁舎建設は、令和10年度までの64億円の継続工事です。規模を2割以上縮小して総額を決めての入札でした。このあおりを食らったのが昨年10月から休館している大和公民館の改修工事です。

<大和公民館の改修工事はどうなるの>

改修工事に必要な設計は、昨年6月に終了とのこと。何故、工事に入らないか、質問したところ明確な回答がなく、上しか答えられないよという声があり疑問が解けました。

- ①新庁舎の縮小で、土地改良組合などの事務室や会議室などが大和公民館に追い出される。新庁舎の見直し設計が完了しないと、残る部分である公民館機能も明確にならない。
- ②新庁舎の64億円の工事費も、何らかの理由で不足した場合は、大和公民館の改修工事費で補てんする。同じ敷地内との理由で随意契約ができる。
- ③従って、大和公民館の改修工事は、新庁舎の完成目途が立つまで待たされる。公民館ではなく、規模も小さくなり新庁舎の付属施設になるかも知れない。

都合の悪いことは市民に説明しないのが、大塚市政の悪いところ。この推理が間違っているなら、直ぐにでも改修工事に入ってほしいものです。

差別か、区別か。不適切にも・・・

図書館法で義務付けられた「図書館協議会」などの協議会、審議会の委員の方の報酬改定が提案されました。新設される「図書館協議会」の場合、「識見を有する委員：日額6千円」、「委員：日額3千円」です。何か、おかしいですね。同じ会議で同じ立場で議論するのに金額に差がある、会議では採決もありますが一票の重みは同じですよ。

「これは差別だ、同一にすべきだ」と反対意見を述べましたが、ある党の議員は、壇上で「これは区別である」と主張しました。ちなみに近隣市も調査してありますが、みんな同一です。笠間市（4500円）、筑西市（4800円、委員長は5500円）、つくば市（8000円）、茨城県（これらの委員は一律13000円）です。昭和の時代の間違った差別（区別としていた）は、速やかに廃止しましょう。

介護福祉施設の現状は

入所待ちの待機者が沢山いるのに、空きがある。本人や家族が少しでも安心できるよう、行政も関係施設もいろんな努力をお願いします。

施設	数(か所)	定員(人)	入所者数(人)	差(空き)(人)	入居率(%)	待機者数(人)
特養老	4	290	235	55	81	85
老健施設	3	280	242	38	86	19
グループホーム	6	99	92	7	93	13

太陽光発電施設の請願は継続審議です

ころころと変わる発電事業者の「地位の継承」は新設され、区長さんの同意は、近隣地権者の同意に変更することに改正されました。武井議員と私が紹介者となった「発電事業者に対し、事業終了後は発電施設を撤去し原状回復する規定を設けるとともに、その旨を市と当該事業者が協定書を交わすことを求める請願」は継続審議です。お隣の筑西市の「太陽光発電施設条例」は、「活動報告16号」で指摘した内容が、ほぼ網羅されています。これをお手本に、当市の実情を加味して抜本的に改正しましょう。**わがこととして**、市民の皆さんのいろんな知恵を出し合っ、素晴らしい条例に直しましょう。3億円近い固定資産税の増収があります。職員も増員し、桜川市の環境や景観が傷つかず、将来に残せるよう皆で努力したいと考えます。

水道統合はメリットがあるのでしょうか

県南水道企業団（取手市など）の資料では、県の広域統合への参加は、21団体、給水人口80万人、職員数197人です。これに対し、非参加は22団体、給水人口189万人、職員数507人です。人口比では、統合参加は1/3以下です。参加のメリットは国の補助金とのことですが、参加しないつくば市などがあげるデメリットは、整備計画や料金が県等に決められてしまう、職員が分散され市民サービスが低下するなどです。桜川市は参加のメリット、デメリットを議論することもなく参加を決めました。国が「広域連携の推進」で紹介しているのは、**香川県広域水道企業団**です。この方式は「活動報告16号」で提案しました。県と市町が対等の立場での組織体です。

県企業局の過剰な水源と多額の企業債（借金）返済を支援するための水道統合は、近い将来、必ず、水道料金の値上げとなります。注意していきましょう。

桜川市が上曽トンネルの維持管理費を負担

今年度中には完成します。しかし、照明など維持管理費が20百万円かかり、県に負担します。県道を市道に格下げし、合併特例債で市道として整備したからです。トンネル完成後は、元に戻り県道になるはずでしたが・・・

農業基盤の整備は進むか

私は、5反歩の有機無農薬の稲作農家です。大規模化だけがよいとは考えませんが、農地の集約化、ほ場区画の拡大、40年以上経過した水利施設の更新など、生産基盤の再整備は待たなしの緊急課題です。ソフト面の地域計画づくり、農地の集約化に合わせ、ハード面の整備に力を入れましょう。

市政報告・意見交換会

4月20日（日）午後1時30分～ さくらす会議室（1F）

榎戸議員（090-2481-6059）と、予算議会の審議を報告するほか、市政の課題などについて意見交換したいと思います。是非、ご参加ください。提案をお待ちします。



あれの7年前、こんな映画が公開されていたなんて！
コメディイなのか、スリラーなのか？笑っていいとも、怯えていいとも！
役所広司主演 原発エンタメご家族で

入場無料 2025年4月5日 真壁伝承館まかべホール 12:30 開場

主催：いばらき県民投票の会さくらがわ

お問合せ：0296-70-4156 桜川市友部 207-2 LOGOS 富岡

〒309-1231 桜川市本木1448 川股 隆

E-mail：kawamata27takashi@gmail.com

電話：0296-58-7034

H P：kawamata-takashi.sakuraweb.com



かわまた隆
公式サイト



※このチラシは再生紙を使用しています